

会 議 録		令和 6 年 6 月 25 日 作成	令和10年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府田辺警察署協議会（令和 6 年度第 1 回）		
開催日	令和 6 年 6 月 24 日（木）		
時 間	午後 2 時 05 分から午後 3 時 50 分までの間（ 105 分）		
場 所	京田辺市立社会福祉センター 第 2 研修室		
出席者	松井委員、垣内委員、山本委員、今井委員、上辻委員、花木委員、 松田委員 （欠席 高木委員、朝田委員） <span style="float: right;">計 7 人</span>		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、 交通課長、警備課長、広聴係長 <span style="float: right;">計 10 人</span>		
諮 問 事 項	田辺警察署の今年の取組について		
会 議 内 容	1 委員自己紹介 <span style="float: right;">司会 副署長</span> 2 警察幹部自己紹介 3 会長挨拶 4 署長挨拶 5 協議 <span style="float: right;">司会 副会長</span>		
	諮問事項説明 田辺警察署の今年の取組について～各課長 <b>【委員】</b> 特殊詐欺のアポ電について、犯人は無差別に電話を掛けているのか。 高齢者が電話に出た時にだけ話を進め、若い人が出たら電話を切るのか。 <b>【警察】</b> 無差別に電話をしているわけではない。過去に検挙された被疑者は、 様々な名簿やリストを使用して被害者になりやすい者を狙って電話を 掛けていたというケースが多い。 <b>【委員】</b> 私自身、防犯機能付き電話への買換えができておらず、050や070、 0120からの電話には対応しないようにしているが、防犯機能付き電話 の普及率は上がってきているのか。 <b>【警察】</b> 防犯機能付き電話については、管内全体で言うとまだまだ普及して		

会 議  
内 容

いないのが現状である。当署では、防犯協会から 2,000円の補助を受け、普及に努めているところである。

【委員】地域見守り活動について、昨年11月頃、買物帰りのお客様に下校時の子供の見守りを願う「ながら見守り」を依頼することについて連絡を受けたが、追加で何かさせていただくことはないのか。

【警察】子供に対する「声かけ事案」などが発生する時間帯が、買物に行かれる時間帯と重なることが多いという観点から、買物という日常生活をしながら下校中の子供に目を向けて、見守りましょうという趣旨でお願いしたものである。今後もイベント等を企画すれば、協力をお願いしたい。

【委員】ながら見守りの成果は上がっているのか。

【警察】このような取組については、一朝一夕に成果が出るものではなく、継続的に行うことで成果につながるものと考えている。

【委員】私の店が通学路に面していることから、下校中の子供に対する声掛けなど、従業員にもできることがあれば協力させてもらいたい。

【委員】近年、私たちの住む地域でも外国人の方が増えてきている。主に技能実習生だと思うが、地域住民からは外国人の方との生活習慣の違いや、ゴミ出しに関して苦情が出るが多くなってきている。私自身、外国人の方が自転車に二人乗りして、国道307号の宇治田原町方面から京田辺市に向かって走っているのを見るが多くなった。下り坂で結構な速度が出されており、夜間でもライトをつけていないなど、危ないと感じる。警察で外国人の方の自転車の二人乗りを指導してほしいとか、危ないから注意してほしいといった内容の相談が寄せられていないか。

【警察】その事実は把握していない。時間帯等を調査して指導警告を実施するとともに、外国人技能実習生を受け入れている企業に対する指導教養も推進したい。

外国人の方の交通事故取扱いも増えてきているように思う。早急に対策を講じたい。

【委員】宇治田原町でも外国人の方が400人を超えており、一軒家に集団で住んだり社員寮に入っている。自転車にも車にも乗っているが、今のところ目に余るようなルール違反などは見られない。しかし、ゴミ出しなどについては、マナーやルールを理解してもらうことが難しく、地域住民とのトラブルの原因となる可能性が高いことから、行政としても地域住民とコミュニケーションがとれるよう、雇用している会社に対して対策を取っている。交通マナー等については警察の支援もいただきたい。

会 議  
内 容

【警察】外国人の方への交通安全教室や防犯教室も計画したい。

【委員】警務課の術科推進ということで逮捕術大会のビデオを見せてもらったが、柔道や剣道についてはある程度理解できるが、逮捕術については初めて見せてもらいその迫力に驚いた。種目についてもいろいろあって覚える間もなく映像が終わってしまったので、今度は実際に練習しているところを見てみたい。

【警察】検討させていただく。

【委員】大学内で友人と話す中で自転車を盗まれたり、財布を盗まれたり、パソコンを盗まれた人もいた。自転車については大学構内の駐輪場で盗まれたり、マンションの駐輪場で盗まれたりしているが、鍵を掛けていないという人が多かったと思う。また、4年生になり卒業が近づくと、自転車を地元に戻すのも大変なので、盗まれても「ちょうど処分しようと思っていた。」と被害届も出さないケースも多いと思う。自転車については物を大切にしないという感覚が、被害に遭いやすい原因になっていると思う。

【警察】それでも警察は自転車盗被害防止の啓発を推進して、被害を減らす努力を続けていくので、その方法等について何か学生の皆さんに響くような方法があれば提案をお願いしたい。

【委員】自転車盗の被害のうち、犯人が捕まるのはどれくらいの割合か。

【警察】昨年の府下における自転車盗の検挙率は約1割である。自転車が見付かる割合については、検挙できなくても遺留品として発見される場合もあるが5割まではいかない。

【委員】詐欺に関する名簿の話で、自治体では災害時要支援避難者名簿を作成しているが、これは流出してはならない名簿であり、取扱いには十分注意しているが、先ほど説明された高齢者の名簿はどこから流出するのか。

【警察】昔の小学校の連絡票、卒業アルバム、PTA名簿などは住所氏名年齢まで記載されており、それらを名簿を取扱う業者が買い取っていた。その名簿が悪い事を企む者たちの間で取引され続けている。

【委員】先ほどの災害時要支援避難者名簿は、その必要性から消防や警察にもお渡しするが、取扱いについては十分留意しなければならない物だと改めて認識できた。

【委員】京都府下の自転車のヘルメット着用率について12.4パーセント（4月末）と説明されたが、この数字は高いと判断するのか低いと判断するのか。井手町の井手東線はスポーツサイクルで走行する人が増えてきたが、ヘルメットを着用している人が少ないように思う。私自身、近くの畑まで自転車で出掛ける際にヘルメットの着用を忘れることが

会 議  
内 容

あり、町内でヘルメットを着用しているのは中学生などがほとんどだ  
と思う。12.4パーセントという数字は学生が高めているのではないか。

【警察】数字については、各警察署が定期的に実数をカウントして出してい  
る。施行時に京都府下で6パーセント位だったのが倍になっており、  
少しではあるが着用率が高くなったと感じるが、まだまだ着用率は高  
めていきたい。

【委員】田辺警察署管内では、昨年自転車同士の事故でヘルメットを着用し  
ていない方が亡くなる事故も起きている。これからも着用率が上がる  
よう広報啓発を続けてもらいたい。

【委員】特殊詐欺で私自身、携帯にかかってきた詐欺電話にだまされかけて  
30分近く通話した経験がある。話しながら「お金を払ってしまえば終  
わる」と思い込み、払おうとしている自分がいた。幸い最後に電子マ  
ネーでと言われ、よく耳にする詐欺の手口だと気付けたので被害には  
遭っていないが、話をしたら向こうのペースに引き込まれだまされて  
しまうと思った。それ以降友人には体験談を話して被害に遭わないよ  
うにと伝えているが、犯人も手変え品変えでだましにくると思うので、  
警察も引続き防犯教室等様々な機会を捉えて啓発をしてもらいたい。

【委員】携帯に企業名を名乗る電話が掛かってくるが、この手の電話につい  
て、ここまでは悪質商法、これからは詐欺という線引きはできないか。

【警察】警察官の携帯電話にも、様々な詐欺メールや怪しいメールが届いて  
いるのが現状である。これは詐欺で、これが悪質商法という線引きは  
難しい。自分が求めている情報に関するセールスか、自分が求めてい  
ない物の押し売りのようなセールスかで、対応する、対応しないというこ  
とを判断されてはいかがかと考える。

6 事務連絡

令和6年度の京都府田辺警察署協議会は、第2回は9月頃、第3回は12  
月頃、第4回は来年2月頃に開催を予定している。

以上

## 第1回京都府田辺警察署協議会の開催状況

